

令和元年度 文部科学省推薦

「障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰」を授与されました

日本ヘルマンハープ振興会

「障害者の生涯教育支援活動」のあゆみ



日本ヘルマンハーブ振興会の「障害者の生涯学習支援活動」

ーヘルマンハーブで目指す全員参加型の演奏活動ー

1)ヘルマンハーブの日本への普及

2003年に梶原千沙都が当時在住中のヨーロッパでヘルマンハーブに出会う。2004年に梶原千沙都が帰国し、2005年に本ヘルマンハーブ協会(現在の振興会)を設立。「音楽のバリアフリーを通して、安らぎと和やかさに満ちた世界平和の創造に貢献する」を理念に活動を開始する。ヘルマンハーブという日本で知られていないバリアフリー楽器の認知を図るために演奏活動を開始。爾来、近畿の公民館、小中学校、盲学校、障がい者施設、教会などの公の行事に多数出演し、また、「音楽のバリアフリーを目指して」をモットーに、自ら700回以上の演奏と障がい者理解に係るヘルマンハーブのおはなしを伝える講演活動、ボランティア活動を行う。また、障がい者団体への寄付、東日本大震災被災地、福祉イベントなどでのワークショップイベントを多数行ってきた。

♪ヘルマンハーブの誕生

ヘルマンハーブは1987年にドイツ人の農場主ヘルマン・フェー氏が、ダウン症の息子に「メロディーを弾くことのできる楽器を与えてあげたいと願い楽譜のシステムと楽器を開発しました。

ヘルマン・フェー氏はヘルマンハーブの開発により、1995年にドイツ連邦共和国大統領から功労勲章功労メダルを受賞しました。



2) 障がいのある人の学びの場づくり (教室・サークル・ワークショップ)

●高槻市立生涯学習センター (大阪府)

2005 年朝日新聞朝刊より



・2005 年から日本のダウン症のある子どもにヘルマンハーブを教え始めました。

・楽譜が読めなくても、ゆっくりと美しいメロディーを弾くことのできるヘルマンハーブは評判となり、「大阪ふれあい大会」で、知的障がいのある人と健常者 42 名でバリアフリーのステージを披露しました。

●社会福祉法人 ほかにわ共和国 デイ雲 (長崎県) など



・知的障がいのある人のヘルマンハーブサークル活動が施設やダウン症協会の支部、行政の日曜青年教室ではじまり、サークルや倶楽部立ち上げの指導と支援を行っています。

・2005 年と 2006 年にダウン症専科のヘルマンハーブ教室を大阪府高槻市で開講。2008 年に、知的障がいのある人の教室を兵庫県西宮市で、2011 年に東京都渋谷区で開講。

・梶原千沙都会長が「障がい者のためのヘルマンハーブ指導法」を開発。インストラクターに研修を行い、障がいのある人の教室への受け入れを強化。2019 年現在、全国 130 か所の教室の内、43 教室が障がい者を受け入れています。

●NHK 大阪放送局主催の「ハートフル Music ヘルマンハーブ体験イベント」を10回開催。毎回障がいのある人たちが参加しました。



●中高一貫の支援学校、静岡高等学園では、ヘルマンハーブが中学校の課外授業に導入され、生徒たちが地域の施設でボランティア演奏をしています。



●東京都千代田区日曜青年教室の活動として始まったアンサンブルグループ「ヘルマンハーブちよだ」の演奏団立ち上げの支援。行政の支援のもとで、演奏活動が始まりました。



●知的障がいのあるスペシャルオリンピックスのメンバーが学ぶ「ヘルマンハーブ教室」。
ヘルマンハーブは非言語的な支援のツールとしても役立っています。



●さわかちば県民プラザにおけるヘルマンハープの取り組み、ヘルマンハープを用いた演奏体験型のワークショップを指導しました。

講習ではボランティアの皆さんも大活躍！
6回の講習で、同プラザでのコンサートは大成功を収めました。

●インストラクター研修会や一般講習会で、「障害者サポートのための～ヘルマンハープバリアフリーメソッド」を講習し、障がい者をサポートする人の育成を図っています。



●大阪府視覚障害者福祉協会 青年部研修会 2018

青年部研修会でのヘルマンハープのワークショップ。全盲の方たちが、指の幅感覚を使って《歓喜の歌》や《さくらさくら》を弾ける手法をお教えし、一人ひとりがヘルマンハープのソロ演奏を披露されました。

視覚障害のある参加者は、クオリティーの高いヘルマンハープの音質にたいへん満足され、心から体験を楽しまれていました。



3) 障がいのある奏者の出演機会の創出

日本ヘルマンハーブ振興会主催演奏会で演奏する知的障がいのある奏者。(京都コンサートホール)



ステージでインタビューに答える障がいのある奏者



日独友好 150 周年の日本ヘルマンハーブ振興会主催演奏会。バリアフリー奏者として活躍する障がいのある奏者たち(兵庫県立芸術文化センター)



日本とドイツの知的障がいのある奏者、健常者でフィナーレを締めくくる
日本ヘルマンハーブ振興会主催演奏会(ミューザ川崎)



4) その他の障がい者関連の活動

●障がいのある人の日独交流演奏会

2007 年ドイツのダウン症のあるヘルマンハーブ演奏団が産経新聞厚生文化事業団の施設「三恵園」で交流演奏をしました



2013 年都立高島支援学校を、ドイツのダウン症のあるヘルマンハーブ演奏団が訪問。国際交流行事が開催されました。



＜株式会社日本ヘルマンハーブは、これまで以下の団体に寄附を行いました＞

- ・日本ダウン症協会
- ・日本ダウン症協会大阪支部
- ・産経新聞厚生文化事業団(しあわせ基金)
- ・中国新聞社会福祉事業団
- ・北海道新聞社会福祉振興基金
- ・読売テレビ放送 24 時間テレビ
- ・株式会社福岡放送 24 時間テレビ(東日本大震災復興義援金)
- ・JDF 被災地障がい者支援センターふくしま(被災地東北の知的障害者支援)
- ・愛知県知的障害者福祉協議会
- ・熊本地震復興支援義援金

●「障がい者理解」がテーマの講演活動

沖縄国際大学でのヘルマンハーブの講演



2005 年から日本ヘルマンハーブ振興会会長、梶原千沙都による、「障がい者理解」をテーマにした講演を全国で行ってきました。

ドイツ人の農場主、ヘルマンさんがダウン症の息子さんのためにヘルマンハーブを生み出したという発祥のお話やヘルマンさんの息子への想い。また、ヘルマンハーブの活動から見てくるインクルーシブなエピソードの数々を、ヘルマンハーブの弾き語りとともに伝えています。

千代田区社会福祉協議会での講演



【ヘルマンハーブの導入福祉・教育関連の導入例】

《福祉関連》

社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団運営施設「三恵園」(大阪府)
日本ダウン症協会徳島支部(徳島県)
東京都千代田区主催 日曜青年教室(東京都)
東京都千代田区社会福祉協議会(東京都)
知的障害者更生施設 たけのこ学園(大阪府)
社会福祉法人 倉敷夢工房(岡山県)
特定非営利活動法人 高松市知的障害児ネットワークみんなの広場(香川県)
社会福祉法人ほかにわ共和国 デイ雲(長崎県)
えもん介護サービス(有)(兵庫県)
社会福祉法人徳島県心身障害者福祉会 障害者支援施設 あおばの郷(徳島県)
永寿の里 彩羽(大阪府)
永寿の里 若葉(大阪府)
千葉県障害福祉センター・芸術文化センター さわやかちば県民プラザ(千葉県)
放課後等デイサービスはるみ(兵庫県)
武蔵村山ひまわり(東京都)
放課後等デイサービス Sakura(大阪府)

《教育機関》

社会福祉法人鶴満寺慈光園 鶴満寺保育所(大阪府)
社会福祉法人 清松学園 かえで保育園(兵庫県)
学校法人聖和学園 セント・メリー幼稚園(神奈川県)
ふたば幼稚園(福岡県)
みそら幼稚園(兵庫県)
愛育養護学校(東京都)
大阪市立関目東小学校(大阪府)
大阪市立高殿南小学校(大阪府)
大阪市立瑞光中学校(大阪府)

大阪府立八尾支援学校(大阪府)
不登校・軽度発達支援 静岡高等学園(静岡県教育委員会指定技能連携校)(静岡県)
北海道教育大学(北海道)
育英短期大学(群馬県)
帝塚山大学(奈良県)
国立大学法人 兵庫県教育大学(兵庫県)
学校法人 同朋学園 同朋大学(愛知県)
沖縄国際大学(沖縄県)

《病院》

兵庫県立総合リハビリテーションセンター 中央病院(兵庫県)
公益財団 ドナルド・マクドナルド・チャリティーズ・ジャパン東大ハウス(東京都)
社会福祉法人 向陽福祉会(兵庫県)
医療法人社団石橋内科(兵庫県)

《地域活性》

北海道帯広市新得町役場 “子供センターなかよし内 児童保育課”(北海道)
一般財団法人 敬愛まちづくり財団(兵庫県)

【お問い合わせ先】

Eメール info@hermannharp.com

日本ヘルマンハーブ振興会 東京事務所

〒162-0816 東京都新宿区白銀町 1-17 東邦神楽坂ビル 2F

Tel:03-6256-3548 Fax:03-6265-3649

日本ヘルマンハーブ振興会 神戸事務所

〒651-0094 兵庫県神戸市中央区琴ノ緒町 5丁目 5-29 三経ビル 403号

Tel:078-272-6502 Fax:078-272-6503